

日付	内容
4月	2～8日：新人教育プログラム①（総論）
	13日：新人教育プログラム②（接遇）
	16日：新人教育プログラム3（リスク関連）
	27日：胸郭の評価、上部胸郭介助
	28日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち上がり動作能力向上を目指して～ポータブルトイレ獲得に向けて～ ・ 姿勢の改善から歩行へ ・ 階段動作の改善 ・ 移乗動作に着目して ・ 上肢機能向上を目指して ・ もっと楽に座りたいねえ ・ 食事の食べこぼしの軽減を目指して
	PT勉強会：褥瘡について
	OT勉強会：F I M①
	ST勉強会：摂食・嚥下障害研修会 伝達
5月	21日：診療報酬勉強会
	28日：医療安全（移乗・口腔ケアについて）
	31日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち上がり動作能力向上を目指して ・ 姿勢改善から動作能力向上を目指して ・ 車いす駆動「車椅子をこぎたい」 ・ 杖歩行による移動を目指して ・ 動けないんだよなあ ・ 食事動作向上を目指して ・ 経口摂取と言語表出を目指して
	PT勉強会：透析について
	OT勉強会：F I M②
	ST勉強会：症例検討

日付	内容
6月	1日：呼吸介助（側臥位）
	27日：医療相談・緩和ケア研修会
	29日：診療報酬勉強会～
	29日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・麻痺側下肢伸展筋の促通 ・移動能力改善～歩行器にて～ ・起き上がり動作、移乗動作獲得～自宅復帰を目標に～ ・荷重をかけられない方の姿勢、基本動作に着目して ・気兼ねなく一人でトイレに行きたい ・立ち上がり、移乗動作能力向上を目指して ・発話明瞭度の向上を目指して
	PT勉強会：感染対策について
	OT勉強会：全国作業療法学会 伝達
	ST勉強会
	7月
30日：OSCE①	
31日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・歩行動作安定を目指して～固有受容器に着目して～ ・体幹に着目し、歩行自立を目指して ・歩行能力向上 ・口唇閉鎖～たんぽぽといたくて～ ・病棟トイレ動作獲得に向けて ・うまく食えないんだよ ・随意嚥下を目指して 	
PT勉強会：触診（臀部）	
8月	
	6日：メンタルヘルスケア対策講習会
	7日：接遇マナー研修会
	9日：呼吸介助
	17日：呼吸勉強会
	29日：緩和ケア講習会
	31日：専門職の化学と倫理（リハマインド、法令順守、リスク管理等）
	PT勉強会：触診（大腿前面）

日付	内容
9月	5日：防災訓練演習
	19日：呼吸介助（ベーシック・アドバンス）
	19日：地域連携・緩和ケア研修会
	19日：呼吸介助（アドバンス）
	24日：リスク管理（K Y T）
	28日：症例検討（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・動作時の呼吸苦の改善を目指して ・坐位保持能力向上を目指して ・「もっと歩きたい」自宅退院に向けた歩行能力向上を目指して ・活動性向上を目指して～車椅子駆動に着目して ・集団活動の取り組み ・移る為の立ち上がり ・経口摂取を目指す
	PT勉強会：ウォークウェイ 測定結果分析について
	OT勉強会：環境適応 平面・移動空間への適応 伝達
	ST勉強会：症例検討、高次脳機能障害について
	10月
3日：地域連携・緩和ケア研修会	
10日：がんのリハビリテーションについて（第1回目）	
19日：認知症について、住環境調整について	
22日：褥瘡管理の現状	
25日：メンタルヘルスケア対策講習会	
31日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・両変形性膝関節症について ・足部のアライメント及びアーチから立位、歩行動作に着目して ・安定した車椅子坐位を目指して ・より安全な移動手段を求めて～歩行動作に着目して～ ・左側が感じにくいし、動かない・・・～麻痺側上肢のA D L 参加拡大に向けて～ ・右肩関節周囲炎でも牽行と上手く付き合っていく方法 ・発声しづらさの軽減のための訓練の検討 	
PT勉強会：触診（大腿後面～下腿後面）	

日付	内容
11月	2日：やる気を起こさせる職場作り②
	16日：褥瘡ゼロを目指すために
	21日：がんのリハビリテーションについて（第2回目） がん患者の治療と医学的リハビリテーションの関わりについて
	26日：ノロウイルス感染症について
	27日：スポーツシューフィッター（ベーシックコース）伝達講習会
	30日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） ・変形性膝関節症の内側広筋への筋力増強の効果 ・トコトコ歩きたい ・座ること、歩くこと～体幹・骨盤に着目して～ ・呼吸機能改善を目指して ・右の手を早く動けるようにしたいです ・自宅退院に向けて ・食事摂食を目指し先行期にアプローチした症例
	PT勉強会：触診（下腿前面）
	ST勉強会：症例検討
	12月
5日：O S C E③	
12日：がんのリハビリテーションについて（第3回目）	
21日：B L S、A E D、吸引勉強会	
28日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） ・歩行自立獲得～院内を自由に歩きたい～ ・歩行動作獲得を目指して ・足がすべっちゃうんだよ ・立つこと、座ること～移乗動作に繋げて～ ・疼痛なく重い荷物が運べるように～仕事復帰を目指して～ ・おしりが持ち上がらねえんだよ～移乗動作に着目して～ ・食事、摂食を目指して	
PT勉強会：触診（背部）	

日付	内容
1月	18日：F I M
	19日：環境適応伝達講習会
	31日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子に乗りたい ・半側空間無視に対する治療 ・痛みの少ない動作を目指して ・覚醒度向上を目指して～体幹・食事量に着目して～ ・楽に座るためには？ 今後に繋げる第一歩 ・動きたいと思えるように ・食事摂取が困難となった症例との関わりについて
	PT勉強会：触診（腰部）
	2月
9日：臨床実習指導のあり方（理学療法講習会より）	
18日：呼吸リハビリテーション	
20日：回復期リハビリテーションとは（医師研修会伝達）	
26日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・頸椎症を呈した症例について ・トイレ動作獲得を目指して、まずは立つ ・〇〇さん、はあい ・T F C C 損傷の疼痛軽減を目指して ・痛みが軽くなるように ・麻痺側機能向上を目指して ・経口摂取に移行を目指して 	
PT勉強会：触診（頸部・肩甲帯）	

日付	内容
3月	8日：回復期リハビリテーション病棟について
	22日：リハビリテーション課 過去～現在～今後を見据えて
	23日：体軸理論に基づいた膝・足部の評価と調整法
	26日：嚥下・失語に関する研修会 伝達
	27日：小児領域に関する研修 伝達
	29日：H24年度を振り返って
	30日：症例検討会（以下 症例発表タイトル） <ul style="list-style-type: none"> ・歩行の安定性向上を目指して～アライメントに着目して～ ・自主トレーニングを主体に立ち上がり・歩容改善を目指す ・あ、あ、足がいた、痛いね ・自宅復帰に向けて～歩行動作に着目して～ ・～食べられるかな～食事摂取が困難になった症例 ・麻痺側機能向上を目指して ・直接的嚥下訓練を通して
	PT勉強会：触診（頭・頸部）